



近畿大学腫瘍内科について

近畿大学医学部内科学腫瘍内科

腫瘍内科とは？

- ・悪性腫瘍の内科的治療（薬物療法、免疫治療、緩和治療、腫瘍救急）を専門的に、臓器横断的に行う。

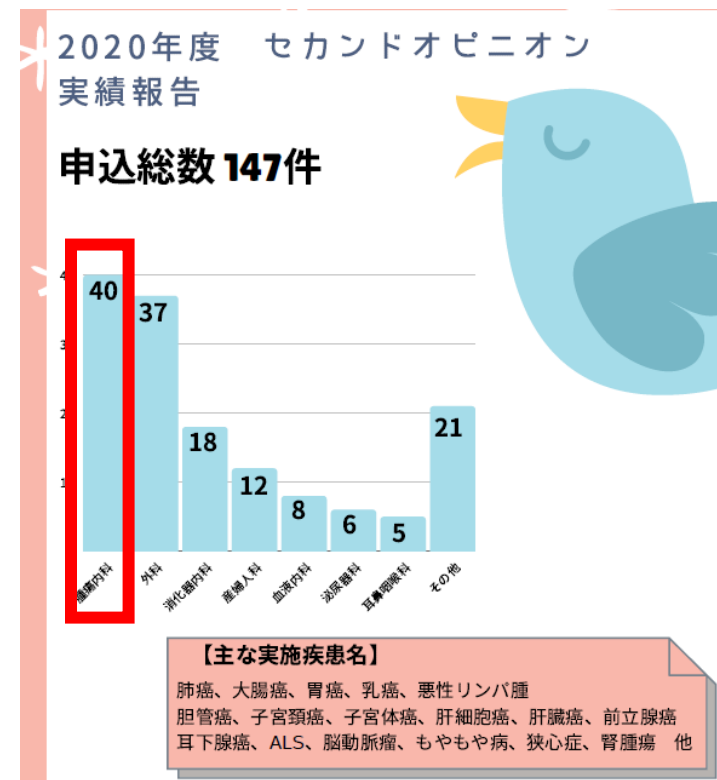
例）消化器内科→消化器がん、消化管潰瘍、炎症性疾患・・・

腫瘍内科→消化器がん、肺がん、乳がん、咽頭・喉頭がん（頭頸部）皮膚がん・・・（化学療法は共通）

- ・外科や放射線治療科と連携して治療戦略を総合的な立場からマネジメントする。
- ・抗がん剤治療だけでなく、がんに伴う症状悪化への緩和治療、腫瘍による救急疾患に対して対応する。総合内科と専門内科のハイブリッド
- ・米国では最も人気のある診療科の一つ。

近大腫瘍内科の紹介

- 創設20年、もっとも日本で歴史のある大学病院腫瘍内科
- 医師:19名 (専攻医3名、専攻医後1~2年目2名)
20歳代4名 30歳代8名
- がん薬物療法専門医(腫瘍内科専門医):10名(過去に50名以上輩出)
- 薬物療法のほとんどを外来で施行
- 緩和ケア~腫瘍救急まで対応



近大腫瘍内科でのがん診療

新規患者数(2022年)					
胸部	非小細胞肺がん (疑い含む)	296	乳腺	乳腺	98
	小細胞肺がん	52	頭頸部	HNSCC	58
	中皮腫・その他	9	原発不明		33
消化管	食道	47	骨軟部		8
	胃	55	その他	泌尿器:1, 婦人科:23, 皮膚:3, その他42	
	直腸・結腸	181			
肝胆膵	胆道・膵臓	48	外来数:2万人強/年 外来化学療法:8000/15000件 入院:約50人/day, 平均在院日数:約13日		
計		954			



腫瘍内科研修の特徴

1. 病棟はセミチーム制(3~4人×2~3チーム)。
2. 外来での研修を重視。
3. 実は手技も多い。
4. 緩和ケア専攻も可能。
5. 豊富な症例経験、Common diseaseも豊富に経験。
6. フレキシブルな勤務体制(有給休暇取得随時)+日勤帯以降の呼び出しほとんど無し。当直明け
午後は帰宅可、出産や子育てに併せた働き方も相談可能  ライフワークバランス！
7. 多くの腫瘍内科関連施設・・・近大奈良、和泉市総合、岸和田市民、国立南大阪、大阪労災
 腫瘍内科無しではやっていけない！
8. 研究希望者は幅広い(基礎、橋渡し、臨床)研究を行うことが可能。

屋根瓦方式

10年目以降
チームリーダー

6~10年目

専攻医

腫瘍内科研修の1週間

例) 専攻医の1週間

業務	
月	関連病院
火	病棟/処置/ER/時間外
水	病棟/全体カンファレンス
木	外来（4年目～）
金	病棟
土 (AM)	病棟

下記に加え、臓器別の
カンサーボードに2つ以上参加
(頭頸部、呼吸器、乳腺
上部・下部消化器、肝胆膵、肉腫、irAE)

- 入院患者対応(主担当5～10人)
- ERでの救急車対応/時間外受診対応
- 処置(CVポート、胸腔・腹水穿刺、気管支鏡、胸腔鏡等)
- Cancer Board(科内・他科との合同)
- 当直（病棟当直 月1・ER当直月1ー2回）
- 外病院での勤務(緩和ケア病棟での勤務も)

慣れるまでは指導医による
丁寧なサポートあり！！

キャリアプラン

- 関連病院を中心に腫瘍内科医として地域のがん医療に貢献
- 中～大規模拠点病院クラスのがん診療病院における腫瘍内科の立ち上げ
- 緩和ケア医として緩和ケア診療科にてがん診療に貢献
- 地域の開業医として在宅医療等を通じてがん診療に貢献
- 大学病院(腫瘍内科や各臓器専門科)やがんセンター等で研究、教育に従事